

# 未来ビジョン『志』3つのポイント

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」として、より一層「地域に愛され世界に輝く」ために、和田学長が今後2年間でまず取り組むことをまとめた未来ビジョン『志』を策定。その中の3つのポイントを聞きました。

学生の皆さんに関連する3つのポイントを紹介します。



## Point 1 未来知につながる教育環境を整備!

高校から大学、大学院まで一貫する連続型の新しい教育システムを作ります。大学入学から博士課程や専門職課程を含む大学院修了までをワンストップでサポートできる体制を整備し、学生支援を行います。また、デジタルトランスフォーメーションにも積極的に取り組むことで、将来を見据えた学生一人一人にとって最適な学修支援や進学・就職支援が可能になるでしょう。

さらに、これまでも学域学類制を進めてきた先進的で柔軟な学びを深化させるとともに、学生が「自ら学び自ら育む」環境を整えます。学生には、未来課題を克服する知恵「未来知」により社会に貢献できる人材になってほしいと願っています。そのためにも、学生の皆さんが持っている「みずみずしい好奇心」が育ち、可能性が無限に広がるよう、教職員が全力でサポートします。



## Point 2 キャンパス内で実証研究を展開!



本学には6つのフラッグシップ研究所をはじめとした世界的研究拠点多くあります。未来社会の創造には、基礎研究・応用研究の推進や研究所群の発展だけでなく、社会実装を想定した「実証研究」が必要です。

本学には広大な敷地と恵まれた研究資源があります。これらを最大限に活用し、本学の多彩な研究の実証をキャンパス内で積極的に展開したいと考えています。

さらに、異分野融合研究が盛んであることも本学の長です。異なる専門や考え方を持つ研究者同士の「雑談の力」をより一層引き出す環境づくりにも取り組みます。

また、本学は附属病院を有しています。最先端の技術を取り入れ、高度な医療を提供するとともに、地域と連携し、人々の持続的な幸福「ウェルビーイング」に貢献します。

## Point 3 社会共創を深化し新たな価値を創出!

金沢大学は石川県金沢の地で160年の歴史を持つ、地域に根差した総合大学です。今後も、地域と世界が抱える課題解決のために本学が貢献できることは無限にあるでしょう。

金沢には豊かな自然があり、加賀百万石の伝統文化が息づいています。この恵まれた資源を活用し、大学、産業界、経済界、自治体などが、それぞれの持つ人材、技術、知識、ネットワーク、資金などを持ち寄り、新たなイノベーションを生み出す共創の場を拡大したいと考えています。学生の力にも期待しています。本学からベンチャー企業が多く生まれるよう、起業支援を行います。

これらの中心となり、各種戦略の企画・立案を行うのが新設した「改革戦略室」です。学生の参加も予定しています。

